

テーマ展

江戸時代の 女性たち

— 武家・農民・商人 —



初摺図絵馬(矢巾町 稲荷神社)

宣寿院六十賀図

The Edo Period Women

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

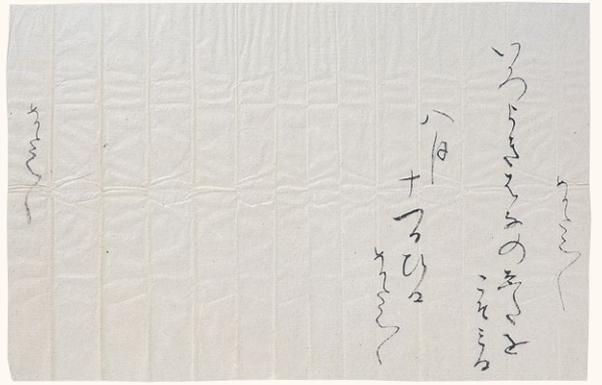
令和4年 4.29^{金・祝}-6.26^日

[無料入館日] テーマ展初日の4月29日(金・祝)、国際博物館の日の5月14日(土)、15日(日)

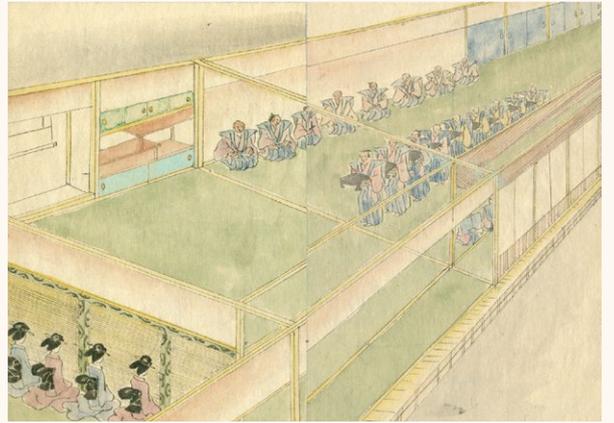
江戸時代の女性たち

— 武家・農民・商人 —

男女共同参画、ジェンダー平等が社会の課題と認識されている現代からみると、江戸時代の女性には、抑圧されていたというイメージを持つ方も多いかと思えます。確かに「奥」という言葉に象徴されるように、あまり歴史の表舞台上に登場することのない女性ですが、史料からは家の存続と繁栄を第一としながらも、伝統を守り、家族の暮らしのために働き、強く生きた姿を垣間見ることができます。伊達政宗の正室愛姫（陽徳院）、一関藩主の娘にして藩主の妻・母となった宣寿院、武家の娘や妻、産婆や庶民など、江戸時代に生きた一関地方に関わる女性の姿を、史料から紹介します。



陽徳院夢想書付



小笠流躰表書院（「宣寿院様在所御下之節御遊覧毎所真写」より）



女雛（一関金森家）



寛（女医師平田徳太郎養母の風間二付）



宣寿院から拝領した盃



婚礼図絵馬（一関市 浪分神社蔵）

講演会「一関藩田村家の奥向と奥女中」（参加無料、要申込）

日時 6月5日(日) 13:30~15:00

講師 菊池慶子氏（東北学院大学教授） 定員 50名

[申込先] 一関市博物館 TEL 0191-29-3180

展示解説会（入館料が必要です、申込不要）

日時 5月8日(日)15:10~、5月21日(土)13:30~、5月22日(日)13:30~、

6月5日(日)15:10~、6月19日(日)13:30~

各40分程度、ただし状況により人数制限や短縮する場合があります。



一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215番地1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



開館時間 9:00~17:00（入館は16:30まで） 休館日 毎週月曜日（但し祝日は開館し翌日が休館）

入館料 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円) 中学生以下 無料 ※()内は団体(20名以上)割引料金次の方々の入館料は免除となります。

①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います) ②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います)

共通入場券 1年間有効1,000円/10日間有効500円

※有効期限内に限り、何度でも対象施設に入館可能（一関市博物館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、大籠キリシタン殉教公園）

交通案内

[自動車]一関ICより西へ約7分(5km)、一関駅より西へ約17分(9km) [路線バス]一関駅前9番乗り場巖美溪方面行約20分(巖美溪バス停下車徒歩7分)

新型コロナウイルス感染症への対応等により、変更となる場合があります。

最新の情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認くださいませようお願いします。